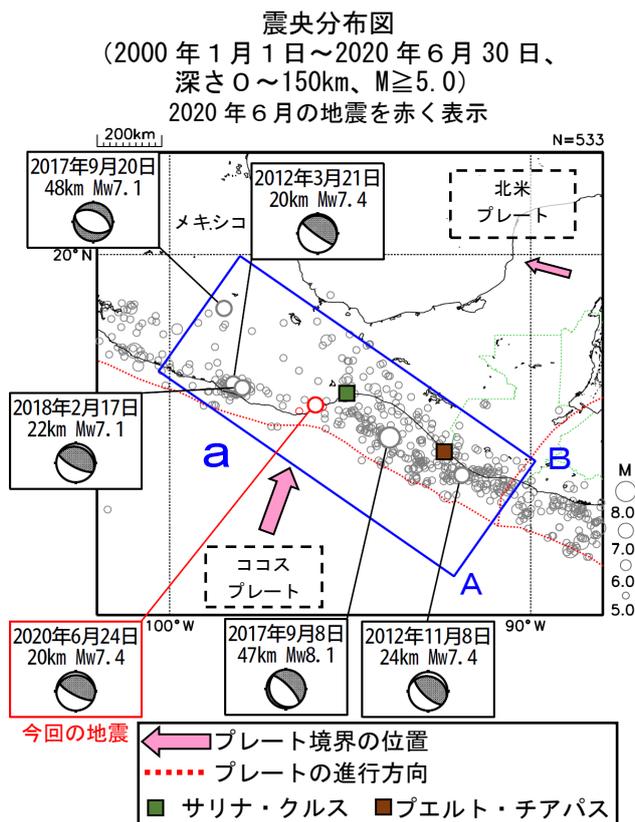


## 6月24日 メキシコ、オアハカ州沿岸の地震



2020年6月24日00時29分（日本時間、以下同じ）に、メキシコ、オアハカ州沿岸の深さ20kmでMw7.4の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

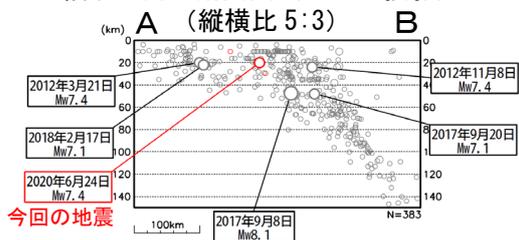
気象庁は、この地震により、同日01時08分に遠地地震に関する情報（日本沿岸で若干の海面変動あり）を発表した。

この地震により、メキシコのサリナ・クルスで0.68mなどの津波を観測した。また、この地震により、死者が10人に達するなどの被害が発生した（6月26日現在）。

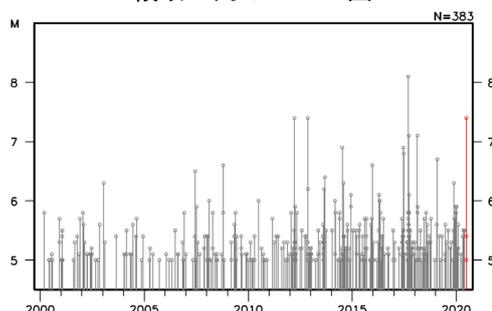
2000年以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、2017年9月8日に発生したMw8.1の地震では、メキシコのプエルト・チアパスで1.76mの津波を観測したほか、約100名の死者などの被害が生じた。

1960年以降の地震活動を見ると、メキシコ太平洋側沿岸では、M7.0以上の地震が時々発生している。1985年9月19日のM8.1の地震では、死者9500人などの被害が生じた（宇津の「世界の被害地震の表」による）。

領域a内の断面図（A-B投影）

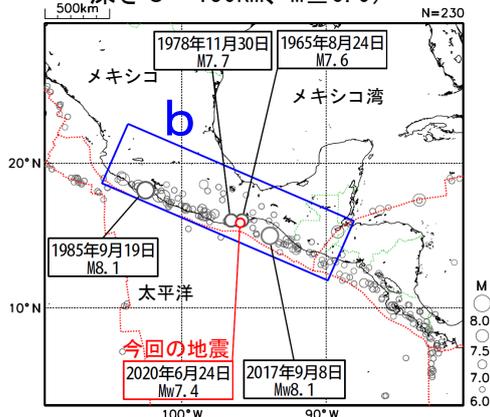


領域a内のM-T図

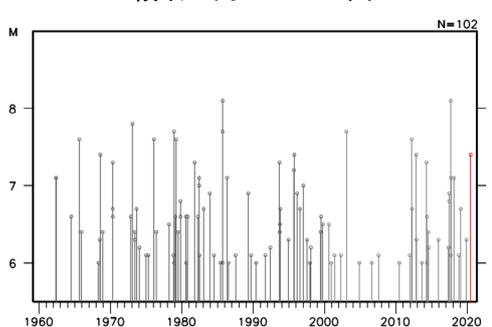


震央分布図\*\*

(1960年1月1日～2020年6月30日、  
深さ0～150km、M $\geq$ 6.0)



領域b内のM-T図



※本資料中、領域a内における吹き出しの地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の震源要素は、米国地質調査所（USGS）による。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による（7月8日12時現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）\*より引用。出典のない地震の被害については、国連人道問題調整事務所（OCHA）による。

※震源データは、1960年から2016年までは国際地震センター（ISC）、2017年以降は米国地質調査所（USGS）のものを使用した。但し、2017年9月8日のMwは気象庁による。

\*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

宇津徳治, 2004, 世界の被害地震の表（古代から2002年まで）, 宇津徳治先生を偲ぶ会, 東京, 電子ファイル最終版. 改定・更新版: <http://iisee.kenken.go.jp/utsu/index.html>.